

## トラブルシューティング

本製品が正しく動作しない場合は次のことを確認してください。

**POWER LED は点灯していますか？**  
POWER LED が点灯していない場合は、電源ケーブルのコードに断線がないか、電源プラグが正しく接続されているか、正しい電源電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。

**リンクテストスイッチの設定を正しいですか？**  
リンクテストスイッチの設定を確認してください。TESTモード選択時はメディア変換機能は作動しません。メディア変換を行う場合は、スイッチを「NORMAL」に設定します。

**LINK LED は点灯していますか？**  
NORMALモード時、LINK LEDは本製品を介して接続された機器の間でリンクが確立した場合に点灯します。どちらか一方のポートのみ接続している場合、LINK LEDは点灯しませんのでご注意ください。LINK LEDが点灯しない場合は、以下のことを確認してください。

**リンクテストスイッチを「TEST」に設定し、TESTモードでどちらのポートの接続に問題があるかを確認してください。**TESTモード選択時は、一方のポートと接続機器との間でリンクが確立した場合に、LINK LEDが点灯します。

接続先機器に電源が入っているか確認してください。

UTPケーブルの長さが制限を超えてないか確認してください。2つのネットワーク機器の直接リンクを形成するUTPケーブルは最長100mと規定されています。

光ファイバーケーブルが正しくクロス接続(TX RX、RX TX)されているか、正しい光ファイバーケーブルを使用しているか、光ファイバーケーブルが断線していないかなどを確認してください。また、LINK LEDが点灯している場合でも、正しく通信ができない場合は、光ファイバーケーブルの抜き差しを行ってください。この際、抜き差しは、必ずTXとRXの両方を行うようにしてください。

光ファイバーケーブルの長さが制限を越えていないか確認してください。

通信モードの組み合わせが正しいか確認してください。「通信モード」項の組み合わせ表を参照し、接続先のポートと通信可能な組み合わせになるようにしてください。なお、本製品は10Mbps/100Mbpsでの接続はサポートしていません。

接続先機器の特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。

リンクの確立に一定時間以上かかったり、リンクが確立しないという場合には、電源ケーブルを抜き差ししてシステムをリセットするようしてください。

UTPケーブルのカテゴリは正しいですか？1000BASE-Tの場合は、エンハンスト・カテゴリ5および同等仕様)のUTPケーブルを使用してください。

## 仕様

**1000BASE-T インターフェース**  
コネクタはRJ-45型のモジュージャックを使用しています。ピン配列は以下のとおりです。

コネクタ	MDI	MDI-X
1	Bl_DA+	Bl_DB+
2	Bl_DA-	Bl_DB-
3	Bl_DB+	Bl_DA+
4	Bl_DC+	Bl_DD+
5	Bl_DC-	Bl_DD-
6	Bl_DB-	Bl_DA-
7	Bl_DD+	Bl_DC+
8	Bl_DD-	Bl_DC-

**1000BASE-LX インターフェース**  
コネクタは2連SCを使用しています。

項目	1000BASE-LX
波長	1300nm
送信光パワー	-11.0~-3.0dBm
受光感度	-19.0~-3.0dBm

## 本製品の仕様

サポート規格	
	IEEE 802.3ab 1000BASE-T IEEE 802.3z 1000BASE-LX
電源部	
定格入力電圧	AC100-240V
入力電圧範囲	AC90~255V
定格周波数	50/60Hz
最大入力電流	0.6A
平均消費電力	23W (最大25W)
平均発熱量	20kcal/h (最大22kcal/h)
環境条件	
保管時温度	-20~60
保管時湿度	95%以下 (ただし、結露なきこと)
動作時温度	0~40
動作時湿度	80%以下 (ただし、結露なきこと)
外形寸法 (突起部含まず)	
	305(W) X 182(D) X 44(H)mm
重量	
	1.5kg
適用規格	
安全規格	UL1950
EMI規格	VCCIクラスA

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

## 保証

製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」をお読みになり、「お客様インフォメーション登録カード」に必要な事項を記入して、弊社「お客様インフォメーション登録係」までご返送ください。「お客様インフォメーション登録カード」が返送されていない場合、修理や障害発生時のサポートなどが受けられません。

### 保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害(人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない)については、弊社はその責をいっさい負わないこととします。

## ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、別紙の「調査依頼書(CentreCOM MC1003)」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記のサポート先にFAXしてください。電話による直接の問い合わせは、できるだけご遠慮ください。FAXで詳細な情報をお知らせいただくと、電話によるお問い合わせよりも、より早く問題を解決することができます。記入内容の詳細については、「調査依頼書のご記入にあたって」をご覧ください。

**アライドテレシス サポートセンター**  
Tel: ☎0120-860-772  
月～金(祝・祭日を除く)9:00～12:00  
13:00～18:00  
土(祝・祭日を除く) 10:00～17:00  
  
Fax: ☎0120-860-662  
年中無休 24時間受け付け

## 調査依頼書のご記入にあたって

「調査依頼書」は、お客様の環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。迅速に障害の解決を行うためにも、弊社担当者が障害の発生した環境を理解できるよう、次の点にそってご記入ください。記入用紙に書き切れない場合は、プリントアウトなどを別途添付してください。

### ご使用のハードウェア機種について

製品名、製品のシリアル番号(S/N)、製品リビジョン(Rev)を調査依頼書に記入してください。製品のシリアル番号、製品リビジョンは、製品の底面に貼付されているシリアル番号シールに記入されています。

(例)

### お問い合わせ内容について

どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかを出来る限り具体的に(再現できるように)記入してください。エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージ内容のプリントアウトなどを添付してください。

### ネットワーク構成図について

ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

## おことわり

本書は、アライドテレシス株式会社が作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。本装置の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright © 2000 アライドテレシス株式会社

## 商標

CentreCOMは、アライドテレシス株式会社の登録商標です。

## マニュアルバージョン

2000年12月 Rev.A 初版

# 安全のために

必ずお守りください

**警告** 下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

**分解や改造をしない**  
本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。

**雷のときはケーブル類・機器類にさわらない**  
感電の原因となります。

**異物を入れない 水は禁物**  
火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

**表示以外の電圧では使用しない**  
火災や感電の原因となります。本製品はAC100-240Vで動作します。なお、本製品に付属の電源ケーブルは100V用ですのでご注意ください。

**正しい電源ケーブル・コンセントを使用する**  
不適切な電源ケーブル・コンセントは火災や感電の原因となります。接地端子付きの3ピン電源ケーブルを使用し、接地端子付きの3ピン電源コンセントに接続してください。

**光源をのぞきこまない**  
目に障害が発生する場合があります。光ファイバーケーブルのコネクタ、ケーブルの断面、製品本体のコネクタなどをのぞきこまないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない  
たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

**通風口はふさがない**  
内部に熱がこもり、火災の原因となります。

**湿気やほこりの多いところ 油煙や湯気のあたる場所には置かない**  
火災や感電の原因となります。

**設置・移動のときは電源プラグを抜く**  
感電の原因となります。

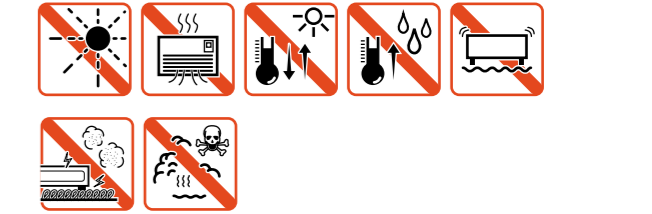
**電源ケーブルを傷つけない**  
火災や感電の原因となります。  
電源ケーブルやプラグの取扱上の注意：  
・加工しない、傷つけない。  
・重いものを載せない。  
・熱器具に近づけない、加熱しない。  
・電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

## ご使用にあたってのお願い

**静電気注意**  
本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクタの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。

次のような場所での使用や保管はしないでください

- ・直射日光の当たる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所(結露するような場所)
- ・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所(湿度80%以下の環境でご使用ください)
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所(静電気障害の原因になります)
- ・腐食性ガスの発生する場所



**取り扱いがはてい無い**  
落としたり、ぶつかけたり、強いショックを与えないでください。

## お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で誤動作の原因になります。

機器は、乾いた柔らかい布で拭く  
汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤(中性)をぬらす  
中性洗剤を使用  
強く絞る

**お手入れには次のものは使わないでください**  
・石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん(化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください)